

水防災・減災ハンドブックの発刊

徳島河川国道事務所
工務第一課

1. はじめに

水防災・減災ハンドブックについて紹介します。

2. 水防災・減災ハンドブックの概要

国土交通省徳島河川国道事務所では、水防指導者の育成及び水防技術を伝承していくためにご活用頂ける教本として「水防災・減災ハンドブック」をとりまとめました。

本書は、伝統的な水防工法を基本として、現代の技術を応用し、改良された最新の水防工法まで幅広く学ぶことができる最新版の教本として作成したものです。

2. 1 水防災・減災技術に対する新たな取り組み

水防工法に関しては、これまで先人達が様々な技術を生み出し、継承してきました。しかし、近年我が国では、生活環境の大きさの変化や地域社会の移り変わりから、これらの伝統的な技術が十分に伝承・継承がされていないことが大きな課題となっています。

このような状況を鑑み、これまで多数の指導書や教本が刊行されていますが、現在の状況に必ずしも、対応した工法になっているとは言えない状況にあります。これは、時代の変化とともに水防工法を実践する組織体制の問題や防災意識の変化、さらには新たな水防資材等の開発が進んだことなどがあげられます。

しかし、従来の工法として、土のうは水防の基本であり、ロープワークは工法の基本であるため、水防技術の基礎として、必ず習得し、理解する必要があります。

よって、本書では、伝承されてきた基本となる技術をしっかりと習得し、その上でより迅速に、安全に水防災・減災に対応できるよう、時代に即した考えを考慮しつつ改善・改良を加えました。さらに、緊急時には現場責任者が容易に判断できる応急型工法も含めて、体系的に整理し、まとめたもので、水防団員等の実務者のみならず若手技術者を含めた指導者の育成用教本として作成したものであります。



写真－1 一人でできる杭打ち

本書の内容は、徳島河川国道事務所ホームページにて、水防工法の動画と共に公開しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/yoshinoriver/saikoutiku/taisakukaigi.htm>